

北九州市国際政策推進大綱2016（素案）に対する市民意見提出手続の実施結果

1 意見募集期間

平成27年11月16日（月）～平成27年12月11日（金）

2 意見提出状況

- (1) 提出者 23人・1団体
- (2) 提出方法 電子メール 23人 持参等 1団体
- (3) 提出意見数 78件
- (4) 意見の内訳

区分	件数
第1章～4章 これまでの取組みや今後の方向性・大綱全般に関するもの	12
第5章 3つの基本方針に関するもの	
Ⅰ 地域の活力を生み出す国際競争力の強化	36
Ⅱ アジアの発展に貢献する国際協力の推進	0
Ⅲ 多様性が力となる多文化共生の推進	30
合 計	78

(5) 計画への反映状況

区分	件数
素案に盛り込まれているもの	37
最終案に反映（追加・修正あり）	6
最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの	33
その他	2
合 計	78

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
第1章～4章 これまでの取り組みや今後の方向性・大綱全般に関するもの（12件）				
1	これからの人口減少、少子高齢化社会を北九州市が生き残るためには、アジアと交流し、アジアの活力を取り込まなければならない。	本大綱では、「アジアにおける北九州ブランド『グリーン成長都市』を確立し、アジアから人・物・投資・情報が集まる都市」を今後の国際政策の目標として掲げ、本市がこれまで培ってきたアジア諸都市とのネットワークを最大限に活用して、施策を進めてまいります。	1	①
2	世界情勢は短いスパンで変動してきており、5年間の大綱にしばらくは、適宜柔軟に方向性を修正できるように考えてほしい。2、3年後には、当大綱が陳腐化しているかもしれないし、本市の国際化の動きが予想以上に進んでいるかもしれない。	国際政策推進大綱は、過去5年毎に策定し、本大綱も来年度から5年間の方向性を示したものです。しかしながらご意見のとおり、国際情勢は刻々と変化しそれに伴って日本の状況も急速に変化することが考えられます。これらの動向を注視しながら、具体的施策の推進の中で、迅速な対応をしていきたいと考えています。	2	③
3	他都市に負けない国際都市を目指して発展していくためには、「市民が在住外国人や留学生と積極的に交流する街」や「青年海外協力隊OBや日本人海外経験者が活躍できるまち」等、目指す国際都市を明確にイメージする準備が大切。	本大綱は、「アジアにおける北九州ブランド『グリーン成長都市』を確立し、アジアから人・物・投資・情報が集まる都市」を目標に、3つの基本方針を掲げています。本大綱で掲げた目標の実現に向けて、市民の皆様にご理解いただくとともに、施策を進めてまいります。	2	①
4	P24（最終案P27）の多文化共生施策の推進体制のイメージ図がよく分からない。北九州市と北九州国際交流協会以外の組織はリンクされているのに、北九州国際交流協会はリンクの中に、北九州市はリンク外に描かれている。	本市は、多文化共生施策の推進について、（公財）北九州国際交流協会が、NPOやボランティア、企業、大学など関連組織を繋ぐ中間組織となっており、市と連携・協働して推進していくこととしています。協会が各組織の中心となり、市も含めて連携していることを表わしていますが、ご意見を参考に、連携をより明確にするためにイメージ図を修正いたします。	3	②
5	P24（最終案P27）の多文化共生施策の推進体制のイメージ図において、「学校」や「医療機関」なども明示してはどうか。	ご意見のとおり、多文化共生施策の推進については、様々な関係団体との連携が必要です。ご意見を参考に、「医療機関」については、イメージ図に追加いたします。なお、「学校」については、「大学・日本語学校など」に含まれていると考えています。	3	②
6	他都市の事例で、短期滞在から中長期在留者になった際、在留カードの担当窓口が混乱したというケースを聞いた。外国人がより快適に過ごすためにも、窓口担当者への再教育をお願いしたい。	本大綱では、「多様性が力となる多文化共生の推進」の施策の中で、市職員の研修や行政各部署の連携を掲げています。今後とも外国人市民への適切な対応に努めてまいります。	2	①

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
7	北九州市国際政策のキャッチフレーズがない。「北九州市から世界へジャンプ！」はどうだろうか。	本大綱では、「アジアにおける北九州ブランド『グリーン成長都市』を確立し、アジアから人・物・投資・情報が集まる都市」を今後の国際政策の目標として掲げています。市民の方へご理解いただけるように、周知に努めてまいります。	3	③
8	外国人市民支援策は、高い建物のようなものだ。1階部分は安心・安全や健康・医療・防災システムなどで、外国人市民にしっかりと伝えなくてはならない。しかし、今後は2階・3階部分が必要。例えば、市内の大学で学んだ外国人留学生のうち、8割が北九州市で働いていない。これからは、それら優秀な外国人人材が北九州に定着してもらうための積極的なサポート（魅力づくり）が重要である。	本大綱では、「国際競争力のある産業の振興」「外国人市民に魅力ある生活環境の充実」を施策の方向性として掲げています。本市で学ぶ留学生を入学から卒業・就職まで一貫して支援する体制による、外国人市民への生活支援の推進、さらに外国人市民の地域参画の促進などにより、目標の達成に向けて施策を進めてまいります。	2	①
9	外国人市民という表現は適切な表現で良いと思う。また、外国人市民の参加の促進は非常に大切なことで、これが掲げられたことを歓迎する。	本大綱では、「地域を支える担い手としての外国人市民の社会参加促進」を施策の方向性として掲げています。外国人市民の地域活動参加への促進や外国人市民同士での共助支援などを推進してまいります。	1	①
10	大綱中に「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を踏まえ、性別・年齢別の視点を織り込んだ記述・支援体制・参加促進・施策のモニタリングにおける性別の視点を明記してほしい。	本市の外国人市民の総数自体は、大幅な変化がないものの、近年新しく定住する外国人市民の国籍が多様化しています。そのため、外国人市民を対象とした施策は、国籍、在留資格、日本における滞在年数、日本語能力などに視点を置いて、実施しています。しかしながら「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を踏まえた性別や年齢も重要な視点であることから、今後の具体的な取り組みの中で検討してまいります。	3	③
11	基本方針ⅠおよびⅡは、環境・国際協力・モノづくりなど、現在実施している活動が念頭に置かれており、将来を展望したものとはいえない。まだ形になっていない他の分野にも目を向け、例えば高齢化など、新たなビジネスモデルになる、新しい分野の可能性を開く記述をお願いしたい。	本市の強みである環境・国際協力・ものづくりに加え、アジアでも近い将来課題となることが予想される、高齢化社会への対応をはじめ、新たな分野への展開は重要であると認識しています。主要施策の中で、今後介護サービス需要が高まるアジアへの健康関連サービス産業の創出や、新エネルギーなど低炭素化に貢献する技術開発支援、IoTへの取り組み等を掲げています。	3	①
12	市外にも発信するならば、「アジア低炭素化センター」と「東アジア経済交流推進機構」の注釈を入れてはどうか。	本市独自の取り組みや機関について、ご意見を参考に、「アジア低炭素化センター」と「東アジア経済交流推進機構」に加え、「北九州学術研究都市」、「北九州国際交流協会」、「外国人インフォメーションセンター」等について、注釈を追加いたします。	3	②

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
第5章 基本方針Ⅰ 「地域の活力を生み出す国際競争力の強化」に関するもの（36件）				
13	今後、高齢化が進み労働人口が減少するなか、高度人材だけに焦点をあてているのはいかがなものか。本市が得意とするものづくりの現場で、本当に必要となる人材は高度人材ばかりではない。ものづくりの現場だけでなく、医療や介護を含めて外国人労働者の確保を図ることも必要だと思う。	人口減少が進む中で労働力の確保は重要な課題であると認識しています。外国人の労働者につきましては、在留資格の問題等、国の入国管理行政によるため、今後も国の入国管理施策を注視しながら、時代の要請に対応できるように、本市として多文化共生の施策を推進して基盤整備を進めてまいりたいと考えています。	2	③
14	アジア諸国が著しい発展を遂げているなか、その活力を取り込もうとする本市の考え方に興味を惹かれる。地方自治体においては、アジア諸都市との信頼関係を構築することが重要な役割になるため、都市間交流活動に積極的に取り組んでほしい。	本市は、現在提携準備をすすめているカンボジア王国プノンペン市を含む姉妹友好都市や環境姉妹都市に加え、日中韓の11都市が会員である「東アジア経済交流推進機構」、環境・上下水道分野の国際協力などによりアジアを中心として都市間交流を積極的に推進しています。本大綱でも、「アジアを中心とした都市間連携・交流の強化」を施策の方向性として掲げ、今後も経済、学術、文化、スポーツ交流など様々な交流を進めてまいります。	1	①
15	大規模な国際会議等の誘致を行い、世界の人々を北九州に集め、北九州の魅力をPRしてもらいたい。	本大綱では、「海外からの観光客をひきつけるまちづくり」を施策の方向性として掲げています。G7北九州エネルギー大臣会合をはじめ、大規模国際大会誘致などの取り組みにより、海外からの来訪者増加に向けた機会を創出し、北九州の魅力をPRしてまいります。	2	①
16	会合や催事開催時などの機会にあわせ、北九州空港等の利用促進のため、チャーター便を企画するなど、インバウンドを意識した積極的な誘致活動に取り組んで欲しい。	本大綱では、「海外からの観光客をひきつけるまちづくり」を施策の方向性として掲げています。今後もMICE誘致・開催の推進などの取り組みを進めるとともに、北九州空港国際線誘致やクルーズ船などの誘致を推進してまいります。	2	①
17	中国・韓国など東アジアを中心とした取り組みに加え、クルーズ船やチャーター便誘致の取り組みを強化すべき。		2	①
18	近年増加する外国人観光客に対し、受け入れ態勢の整備や言語対応、緊急時の情報伝達などはどのように整備を行なうのか。	本大綱では、「外国人市民が安全・安心に暮らせるまちづくり」を施策の方向性として掲げ、やさしい日本語や多言語対応の推進、災害時の情報提供体制の整備、避難場所の表示板や案内図など防災情報の多言語化を進めることとしています。これらの施策のもとで、外国人観光客も含めた緊急時の具体的な情報提供の方法や体制を検討してまいります。	2	③

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
19	北九州市には豊富な観光資源があるにもかかわらず、外国語による案内表示が行き届いていない。ネット社会であることを意識し、来訪者に好印象を与え、口コミによる拡散を狙うためにも、受け入れ態勢の整備が急務である。	本大綱では、「情報インフラや案内機能の強化などによる受け入れ体制の整備」を主要施策として掲げ、案内表示の多言語対応や無料WiFiエリア拡大などの情報インフラ整備を進めるとともに、海外の観光客へのおもてなし意識の醸成を図ってまいります。	2	①
20	お店を外から見て、この店は多言語対応が可能なのかといった情報が分かる表示やシール等があれば、外国人も安心してお店に入ることができる。こうした取り組みが広がってほしい。		2	③
21	標識やサインの色やデザイン、標記の方法等が、所管する部署（国・県・市など）によって異なるため、外国人にとって分かりにくいものになっている。数字やピクトグラムなど、万国共通のものを上手に活用して、交通要所での案内や、意思疎通の手段等に使用していけばよいと思う。特に世界遺産にもなったので、まずは八幡・スペースワールド駅周辺から多言語標記の充実を行ってはどうか。		2	③
22	バス停表示の多言語化など、外国人観光客が公共交通機関を利用しやすい環境を作るべき。		2	③
23	市内の観光スポットを回る観光バスがあれば良い。		2	③
24	インバウンド対策として、経済効果に直結する買い物店・飲食店などを誘致したり、免税対応の充実が必要である。		2	③
25	海外で経験を積んだ日本人が、地域の外国人と継続的に交流したり、多方面で活躍できることが、この街の活性化に良い影響を与えらると思う。		2	③

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
26	観光客向けに人気のゲストハウスなどを充実させてはどうか。外国人自らが運営することで、ニーズの汲みとりや広報も上手くいくと思う。	本大綱では、海外からの観光客をひきつけるまちづくりのため、「情報インフラや案内機能の強化による受け入れ体制の整備」を掲げています。その中で、宿泊施設の一層の充実に向けて、企業等と連携を図りながら、今後の取り組みを検討してまいります。	2	①
27	環境技術や水道技術など、北九州市の強みを十分に活かす事業を展開しており期待が持てるが、ビジネスの面で地元企業が恩恵を受けているという印象が薄い。今後も引き続き地元企業の国際ビジネス支援に取り組み、地域経済の活性化に努めてもらいたい。	本大綱では、「グローバル需要を取り込む地域企業の国際ビジネス展開の促進」を主要施策として掲げ、その中で、市内企業の海外市場販路開拓・拡大支援や、海外展開にかかる相談受付、情報提供など、様々な国際ビジネス支援を推進してまいります。	2	①
28	北九州市内には、銀行と一部ホテル以外に外国紙幣を日本円へ換金できる両替商がなく、また観光施設や商店街の多くの店が日本円による現金払いしか受け付けない状況である。土日祝は銀行も閉店するため、買い物が出来ない訪日客が多いと思われるため、両替の整備が必要である。	本大綱では、海外からの観光客を誘致するため「情報インフラや案内機能の強化による受け入れ体制の整備」を主要施策として掲げています。その中で、外国人観光客の一層の利便性向上に向けて、企業等と連携を図りながら、今後の取り組みを検討してまいります。	2	③
29	企業の国際ビジネス支援策として、外国人雇用に対するサポート体制を強化して欲しい。	本大綱では、「地域の国際競争力を高める基盤強化」「留学生が能力を発揮して活躍できる環境づくり」を主要施策として掲げ、地域企業の国際ビジネス展開の支援のため、留学生など海外高度人材の地元企業への就職を促進してまいります。	2	①
30	イスラム教徒を対象にしたハラールビジネスや、ユダヤ教を対象にしたコーシャビジネスが全国的にも注目されており、本市でもインバウンドならびに定住者向けに、こうしたビジネスの基盤整備の検討が必要では。	本大綱では、「海外からの観光客をひきつけるまちづくり」を施策の方向性として掲げ、海外からの観光客が本市で快適に滞在できるよう、必要に応じて各国の文化や風習、食習慣などに合わせた受け入れ体制を整えることとしています。外国人観光客や市内在住の外国人市民の国籍も近年多様化していることから、今後も動向を注視し情報把握に努め、関連団体等と連携しながら検討してまいります。	2	③
31	海外からの観光客をひきつけるまちづくりのため、「日本のポップツーリズムの首都・北九州」をスローガンに、ポップツーリズムカレンダーを作成してはどうか。	本大綱では、「海外からの観光客をひきつけるまちづくり」を施策の方向性として掲げています。その中で、北九州市ならではの地域資源の活用した施策として、ポップカルチャーをツールとしたイベント・情報発信の強化を行うこととしています。手法等につきましては、今後の取り組みの中で検討してまいります。	2	③

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
32	ロボットなど、北九州市ならではの最先端の技術をおもてなしの技術にも活用することは、市外・国外へのPRだけでなく北九州市民の誇りを高めることにもなるので、是非推進してほしい。	本大綱では、「海外からの観光客をひきつけるまちづくり」を施策の方向性として掲げ、北九州市ならではの地域資源の活用や「おもてなし意識」の醸成を図ることとしています。手法等につきましては、今後の取り組みの中で検討してまいります。	2	③
33	北九州は外国から見た時に、観光地として知られておらず、北九州に行きたいという人を誘引するときにはハードルが高い。しかし、北九州市には魅力ある素材があると思う。それらの具体的な場所や目的地が認知されるような取り組みを行い、実は、それは北九州だった、結果として北九州に来たというアプローチをしてはどうか。	本大綱では、「海外からの観光客をひきつけるまちづくり」を施策の方向性として掲げています。ポップカルチャーや小倉城、門司港レトロ地区などの地域資源を活用し、映画やテレビ番組などの撮影誘致等を通じて効果的に海外プロモーションを推進してまいります。	2	①
34	ポップカルチャー、マンガ、映画などソフトでクールな分野もフィルムコミッションを始めとして、北九州は先端都市と位置づけられる。これからも戦略的・効果的なプロモーションが必要だと感じる。		2	①
35	国際都市間ネットワークの拡充・推進は、今後の北九州市のブランド作りに大切なことと思うが、都市それぞれのニーズに沿った施策を進めることが必要と考える。	本大綱では、「アジアを中心とした都市間連携・交流の強化」を施策の方向性として掲げ、国内外の都市と相互にメリットがあるように連携を深めることとしています。また、「アジアとの絆を深める国際協力の推進」を施策の方向性として掲げ、その中で対象地域のニーズやレベルに応じた環境技術移転や国際協力を推進してまいります。	2	①
36	アジア低炭素化センターのビジネスが軌道にのりつつあり、今までの努力、投資がいよいよビジネスとして結実されることを期待している。	本大綱では、「アジアとのネットワークを活かした都市インフラ輸出の促進」を主要施策として掲げ、その中で「アジア低炭素化センター」や「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸とした都市インフラビジネスの促進や水ビジネス展開を行うこととしています。	1	①
37	G7北九州エネルギー大臣会合のおもてなしを、産官学民一体となって取り組まなければいけない。	本大綱では、「海外からの来訪者増加に向けた機会の創出」を主要施策として掲げています。県内の行政機関、経済団体、国際団体、研究機関による委員会を中心として、G7北九州エネルギー大臣会合の各国参加者を万全の体制でお迎えするとともに、この機を捉えて、本市の取り組みや魅力を積極的に発信してまいります。	2	①

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
38	福岡空港の工事が始まる前に、北九州空港との相互補完・連携の強化を早急に進める必要がある。	本大綱では、地域の国際競争力向上のため「交通・物流基盤の強化」を施策の方向性として掲げ、北九州空港の需要喚起や機能拡充を推進してまいります。	2	③
39	市民の家にホームステイなどをしてはどうか。互いに交流でき、まちづくりにもつながると考える。	本市では、これまで、海外からの訪問団のホームステイを受け入れていただける家庭の募集などを随時実施しております。今後も異なる文化や習慣・言語などに対する相互理解の意識を醸成し、多文化共生のまちづくりを推進していくことで、協力者の広がりにつなげてまいります。	2	①
40	季節に合わせた観光のテーマを選び、シーズンツーリズムを推進してはどうか。	本大綱では、海外からの観光客をひきつけるまちづくりのため「北九州市ならではの地域資源の活用」を主要施策として掲げています。その中で、企業等と連携を図りながら、取り組みを推進してまいります。	2	③
41	もっと北九州の産業技術を世界にアピールすべき。日本の町工場の技術が、世界的な大企業の大工場にしかない技術を持っているということもよくある。もっとアピールしてビジネスチャンスを広げて欲しい。	本大綱では、「国際競争力のある産業の振興」を施策の方向性として掲げています。見本市などの出展助成やミッション派遣など海外市場販路開拓・拡大の機会を提供し、本市のものづくりの力と地域企業の技術力をアピールするとともに、国際ビジネス展開を支援してまいります。	2	①
42	外国人が日本企業で働く場合、日本と母国との仕事上の常識の違いという壁がある。企業と本人双方に、その違いについての相互理解が必要である。	企業が国際ビジネスを展開する際に、現地の言葉や慣習に詳しい外国人材の活用が進んでいます。企業の外国人材の雇用に際しては、在留資格制度の知識や、文化・習慣の相互理解が必要であるため、関係機関と協力して情報提供等の支援に取り組んでまいります。	2	③
43	外国人雇用について、知識が不足し不安を抱えている企業も多い。企業向けの相談業務や多文化共生啓発を強化すべき。社内に入管職員の感覚が分かる人間も必要だ。		2	③

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
44	北九州の街並みは、福岡に比べオシャレさが足りず、建物の調和が取れていない。	本市では、市全域を景観計画区域とし、景観上特に重要な地区で、建築物に対するきめ細かな基準による規制や、公共による重点的な景観整備等によりまちなみの景観向上を図る地区として、「景観重点整備地区」を定めています。さらに各地区を区域にわけ、方針、建築物等の形態意匠に関する行為の制限を定め、良好な景観の形成・誘導を図っており、今後も区域ごとの方針を踏まえ、良好な景観形成・誘導に取り組んでまいります。	4	④
45	無料WiFiが、百貨店、病院、図書館でも使えると良い。	本大綱では、「海外からの観光客をひきつけるまちづくり」を施策の方向性として掲げています。その中で市内観光施設やホテル、商店街などに無料Wi-Fi導入を促し、市内の多くの場所でインターネットが利用できる環境づくりを進めることとしており、企業等との連携を図りながら、取り組みを推進してまいります。	2	①
46	北九州にはホテルが不足している。特に「温泉」があるホテルが無い。	本大綱では、「海外からの観光客をひきつけるまちづくり」を施策の方向性として掲げています。その中で、宿泊施設の十分な確保のため、企業等と連携を図りながら、今後の取り組みを検討してまいります。	2	③
47	北九州にはいい病院が多い。メディカルツーリズムを実施してはどうか。	海外からの観光客誘致方法の一つとして、メディカルツーリズムへの関心が高まっていますが、その実施には、観光の視点だけではなく、地域全体の医療体制や個々の医療機関の経営方針の中で考えていくことが必要です。メディカルツーリズムにつきましては、今後も情報把握に努めてまいります。	2	③
48	北九州市で今から26年前に生まれ、全国や海外にも広がっている北九州発祥のスポーツ「ふうせんバレーボール」を、国際交流やレクリエーション等の様々な機会で紹介してほしい。	本大綱では、「アジアを中心とした都市間連携・交流の強化」を施策の方向性として掲げ、経済、学術、文化、スポーツ分野を含めた様々な交流を推進することとしています。海外とのスポーツ交流の機会などに、本市のスポーツ事業のPRに努めてまいります。	2	③

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
第5章 基本方針Ⅲ 「多様性が力となる多文化共生の推進」に関するもの（30件）				
49	多文化共生に関する施策のほとんどが「北九州国際交流協会」を窓口に行っている。インターネット等が普及している時代に、ここ（北九州国際交流協会）にお尋ねくださいとは時代遅れだと感じる。スマートフォンのアプリの開発や、FBなどを使ったSNSによる相談・解決も必要ではないか。	本市では、（公財）北九州国際交流協会と連携しながら多文化共生施策を推進しています。協会では、窓口への来訪だけでなく、多言語による電話での相談にも対応しています。近年は外国人市民にとってインターネットが主要な通信手段となっていることから、ホームページ・その他メディアの活用は有効であり、充実を図る必要があると考えています。具体的な手法につきましては、外国人市民の方にとってより活用しやすいものとなるよう、今後の取り組みの中で検討してまいります。	2	③
50	国や民間財団等の奨学金制度はあるが、パイが少なく、金銭的な問題でアルバイトに追われ、学業や就職活動に支障が出ている外国人留学生が多い。留学生支援策として奨学金支援が必要である。	本市で学ぶ留学生は、将来本市と母国との架け橋となる貴重な人材です。現在留学生に対しては、北九州国際交流協会や、姉妹都市である大連市の留学生に対する奨学金支給を行っており、各所属大学などでも独自の奨学金制度をもっている場合もあります。出身国によって留学生の状況は様々ですが、本市で安心して学んでいただけるよう、具体的な支援方法については、引き続き今後の取り組みの中で検討してまいります。	2	③
51	地元定着の観点から、外国人留学生に特化した就職支援策が求められており、市内企業と外国人留学生とのマッチング等は行政が主導して行うべき事業である。	本大綱では、「地域の国際競争力を高める基盤強化」「留学生が能力を發揮して活躍できる環境づくり」を主要施策として掲げています。留学生の入学から卒業・就職まで一貫して支援するために、市・教育機関、経済団体、留学生支援団体等から構成される「北九州市留学生支援ネットワーク」を設置し、留学生などを対象にした就職説明会や企業との交流会等を開催しています。また、企業と留学生とのマッチング等につきましては、ハローワークなど就労支援機関と連携を強化しながら、留学生の就職支援事業を推進してまいります。	2	①
52	他の自治体にはない留学生支援を行うことで差別化を図り、優秀な留学生の集積につなげ、定住化を進めることで、多文化共生の推進に寄与すべき。	本大綱では、「留学生が能力を發揮して活躍できる環境づくり」を主要施策として掲げ、行政・教育機関・経済団体・留学生支援団体等から構成される「北九州市留学生支援ネットワーク」などを通じ支援体制を充実させるとともに、就労や生活支援策を進めることとしています。 留学生だけでなく、外国人市民にとって魅力があり安心して暮らせる生活環境の充実につとめてまいります。	2	③
53	「災害時の外国人市民の安全・安心をまもる施策の推進」11行目の「要配慮者」は「要援護者」のほうが適切だと思う。	災害対策基本法とそれに基づく「北九州市地域防災計画」において、災害時に特に配慮を要する人を『要配慮者』と記載していますので、混乱がないように、本大綱においても表記を統一しております。	3	④

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
54	まちなかから若い人が減っているように感じる。外国人留学生を増やし、まちの賑わいを取り戻してほしい。	本大綱では、「留学生が能力を発揮して活躍できる環境づくり」を主要施策として掲げ、留学生の生活支援や就職支援を行うこととしています。多くの留学生が活躍するまちにするため、施策を推進してまいります。	2	①
55	自治会等においても、高齢化、加入者減少などの問題を抱えている。本市に住む外国人が地域活動に参加しやすい環境整備を行ってほしい。	本大綱では、「地域を支える担い手としての外国人市民の社会参加促進」を施策の方向性として掲げ、その中で、外国人市民の地域活動参加や外国人市民自身による外国人市民の支援を促進してまいります。	2	①
56	外国人が日本で生活する上で、同国人同士の情報共有や仲間づくりができる環境整備の推進が必要だと思われるが、どのように整備を行うのか。	本大綱では、「地域を支える担い手としての外国人市民の社会参加促進」を施策の方向性として掲げ、その中で、外国人コミュニティやキーパーソンを発掘しながら、外国人同士の繋がりを育み、共助活動の支援を行ってまいります。	2	①
57	地域に多くの外国人が住むようになり、たくさんの留学生がこの町を目指し勉強するようになることは、この街を活性化し、その魅力をより高めると思われる。	本大綱では、「留学生が能力を発揮して活躍できる環境づくり」を主要施策のひとつに掲げ、本市での生活に適應するための支援や、留学生等の家族のための支援、また留学生が地域企業等に就職し能力を発揮して活躍できる環境づくりを促進してまいります。	2	①
58	近い将来、少子化対策の一環として、国として海外から移民を受け入れる可能性もある。そのときに海外からの移民と仲良くこの街で暮らすためには、地域が外国人との交流に関して準備をして（慣れて）おく必要がある。	本大綱では、「多様性が力となる多文化共生の推進」を基本方針のひとつとして掲げ、外国人の生活環境の充実や日本人市民と外国人市民の相互理解の促進、外国人市民の社会参画の促進等の施策を推進してまいります。	2	①
59	周辺地域とも連携して、外国人コミュニティ支援の輪を広げた方が望ましいのではないかと。身近な地域と情報交換だけでもしておくことで、互いの支援の幅が広がると思う。	本市に在住しながら近隣都市に通学・通勤している外国人市民や、近隣都市に在住して本市に通学・通勤している外国人もいることから、周辺地域との情報共有は重要であると考えます。今後の取り組みの中で検討させていただきます。	2	③

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
60	外国人が住みよいまちになるには、支援制度や組織体制だけでなく、日本人側の意識の改革・向上が重要と思う。「多文化共生」という言葉をよく耳にするという環境を整備することで、関心を持つ市民も増えてくると思うので、認知度向上に向けた取組みを期待したい。	本大綱では、「日本人・外国人市民の相互理解促進」を施策の方向性として掲げ、その中で多文化共生の意識啓発として、日本人市民への意識啓発の推進や日本人市民と外国人市民の相互理解に向けた交流活動の支援を行うこととしています。それらを通じて、多文化共生についての認知度も高めていきたいと考えています。	2	①
61	北九州市の多文化共生事業は、（公財）北九州国際交流協会がその多くを担っていると思うが、その存在や活動は、十分には知られていないのではないだろうか。日本に来て不安な外国人や、外国の方との交流を希望する日本人にとっては頼もしい存在であるので、今後は団体そのものや活動の発信力をより高めていくことが重要ではないか。	本市の多文化共生施策は、市と（公財）北九州国際交流協会が連携しながら実施することとし、本大綱では、「多文化共生社会の実現に向けた体制づくり」を主要施策のひとつとして掲げ、協会への「活動支援」や「連携強化」を進めていくこととしています。協会が実施する様々な支援事業をさらに知っていただけるように、今後とも努めてまいります。	2	①
62	「希少言語に対応できる対応できる通訳ボランティアの発掘・養成に努める」とあるが、希少言語という言葉が、それを母語とする外国人住民に不快感を与えてしまうおそれがあるため、「できるだけ多くの言語に対応できるように、通訳ボランティアの発掘・養成に努める」といった表現に変更した方が良いと思う。	北九州市内の外国人市民在住状況をもとに、使用者が少ないと推定される言語を「希少言語」と標記しておりましたが、不快感を与えるおそれがあるというご指摘を受け、ご意見を参考に、表記を修正いたします。	3	②
63	公共表示に加え、ごみ捨てや防犯事項等の様々な注意事項も多言語化することで、外国人にも理解を促してはどうか。	本大綱では、「外国人市民が安全・安心に暮らせるまちづくり」を施策の方向性として掲げ、やさしい日本語や多言語などによる効果的な情報提供を推進していくこととしています。現在、防犯マニュアルやごみ出しマニュアル等を多言語で作成していますが、今後できるだけ限り、生活に必要な情報や、安全・安心、医療に関する情報の多言語化・振り仮名表記化に努めてまいります。	2	①
64	外国人は税の知識が乏しく、かつ外国人コミュニティによる間違った情報が氾濫しているため、税理士による相談会や啓発活動が必要だと考える。	現在、（公財）北九州国際交流協会では、月1回法律や在留資格等の無料相談をしています。税を含めた日本の法律や制度に関する正しい情報提供は、必要な生活支援のひとつですので、今後の取り組みの中で検討してまいります。	2	③
65	外国人を地域活動に参加させるためには、ポイント付与制など、外国人が参加することでのメリットが必要だと考える。	本大綱では、「地域を支える担い手としての外国人市民の社会参加促進」を施策の方向性に掲げ、地域づくりの核となるボランティアや外国人キーパーソンの発掘・育成などを推進することとしています。具体的な手法等につきましては、今後の取り組みの中で検討してまいります。	2	③

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
66	多文化共生の研修の充実について、市職員だけでなく、市民センター等の市所管施設で働く方々にも広めてはどうか。	多文化共生の推進のためには、市民の皆様のご理解が基盤となります。今後も様々な場や機会を活用して、多文化共生についての意識啓発や情報提供に努めてまいります。	2	③
67	特に子供がいる外国人・国際結婚の家族を支援するため、Uターン・Iターン就職の支援活動について、外国人も対象としてほしい。	本大綱では、「外国人市民に魅力ある生活環境の充実」を施策の方向性として掲げており、関係機関と連携して、外国人に関する就職情報の提供等の支援に努めてまいります。 なお、本市が実施しているU・Iターン就職支援では、国籍を問わず利用登録者には、インターネットを活用した地元企業の求人情報の提供や専任コンサルタントによる電話やメールでの転職相談など、様々な支援を行なっています。	2	③
68	受け入れ側である日本人も、来訪側の外国人も、お互いのハードルを下げ、日常の中で交流ができるきっかけ・仕組みづくりをすると、その後は自然に交流が広がっていく。外国人は言葉が異なっているだけで、この街にすることが自然であるという環境づくりが大切。	本大綱では、「日本人・外国人市民の相互理解促進」を施策の方向性として掲げ、その中で、日本人市民への多文化共生意識の啓発の推進や、日本人市民と外国人市民の相互理解に向けた交流活動の支援を行うこととしています。それらを通じて、外国人市民が地域にとけ込み活躍できる環境づくりを目指してまいります。	2	①
69	外国人市民が、北九州で何かを新たに始めるにはハードルが高い場合もあるため、外国人が何か社会参加をする際の新規立ち上げ支援を行ってはどうか。	本大綱では、「地域を支える担い手としての外国人市民の社会参加促進」を施策の方向性として掲げ、地域コミュニティの理解促進や外国人市民の地域活動参加の機会提供などを行い、ボランティア活動や地域活動を通じた地域社会への参加の促進を行うこととしています。外国人キーパーソンの育成・発掘など新しく活動をはじめするための基盤づくりの支援に努めてまいります。	2	①
70	留学などのしっかりとしたルートで入ると日本でのルールを知ることは出来るが、同行してきた家族はルールが分からず、生活していく中で日本人からクレームを受けることがある。同じ国の先輩が、同じ言葉で優しく教えてあげることが望ましい。	近年は家族を伴って留学してくる外国人市民も増えていきます。本大綱では、「地域を支える担い手としての外国人市民の社会参加促進」「日本人・外国人市民の相互理解促進」を施策の方向性として掲げ、外国人市民自身による外国人市民の支援や外国人コミュニティなどによる自助意識の醸成、外国人同士のつながりを育む共助活動の支援を行ってまいります。	2	①
71	日本的なものは残して外国人でも住みやすい日本にしたい。お互いの国の文化、価値観を分かり合える機会が大切。	本大綱では、「日本人・外国人市民の相互理解促進」を施策の方向性として掲げ、互いの文化を認め尊重し合う多文化共生の意識を醸成するため、様々な意識啓発を行ってまいります。	2	①

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
72	「外国人市民が安全・安心に暮らせるまちづくり」に関し、安全・安心にとどまらず、外国人の人権を守るという姿勢を明確にすることが、本市の国際的な魅力になると思われるため、「人権」を守るということを明記して欲しい。	本大綱では、「多様性が力となる多文化共生の推進」を基本方針の一つに掲げています。「多文化共生」の考え方には人権を守ることも含まれていますが、ご意見を参考に、より明確にするために、表記を修正いたします。	3	②
73	「日本人・外国人市民の相互理解の促進」の中で、「民間団体が主体となって行う交流活動や国際会議等への参加」への支援の充実を図る。」を含めることを提案する。	本大綱では、国際理解の促進のために民間団体が主体となって行う交流活動への支援の充実を掲げています。支援内容については、個別事業の中で検討してまいります。	3	③
74	労働人口減の中、外国人留学生などの海外人材の活用が急務と思われる。北九州市は「北九州市留学生支援ネットワーク」を設立したはずだが、第2章「北九州市のこれまでの国際政策」に記載されるべきではないか。	本市は、平成26年度に外国人留学生の入学から卒業・就職までを一貫してサポートするプラットフォームとして「北九州市留学生支援ネットワーク」を設立しました。ご意見を参考に、第2章に追加させていただきます。	3	②
75	どこの企業がどこの国の人を採用しているのかという情報が欲しい。	本大綱では、「地域の国際競争力を高める基盤強化」「留学生が能力を発揮して活躍できる環境づくり」を主要施策として掲げ、留学生など海外高度人材の活用の促進を行うこととしています。そこで、地域企業の国際ビジネス展開を支援する「九州グローバル産業人材協議会」や、留学生の入学から卒業・就職までを一貫して支援するプラットフォームとして設置した「北九州市留学生支援ネットワーク」を活用して、求人情報を含めた様々な情報共有を図ってまいります。	2	①
76	（公財）北九州国際交流協会の財政基盤を強化するためにも、例えば近隣の自治体の外国人市民の生活支援を行い、その自治体からの財政支援を受けるといったことも検討してはどうか。	本市の多文化共生政策を推進する上で、（公財）北九州国際交流協会は大きな役割を担っており、協会が本市においてその役割りを十分に果たせるような基盤整備が必要です。近隣自治体との連携については、互いに情報交換を行いながら状況把握に努め、今後検討させていただきます。	2	③

【意見の内容】

- 1 大綱の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 大綱の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 大綱の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 素案に盛り込まれているもの
- ② 最終案に反映（追加・修正あり）
- ③ 最終案に反映しないが、今後の施策の参考とするもの
- ④ その他

No	意見の概要	意見に対する市の考え方	内容	反映結果
77	観光だけでなく、学会などで人が来る ときに日本人と外国人とが交流が出来 れば良いと思う。また、子ども同士の 交流は特に効果が期待出来る。	本大綱では、「多様性が力となる多文化共生の推進」 を基本方針のひとつに掲げています。多様な文化への 理解を進めるために（公財）北九州国際交流協会等 で、外国人市民等との交流の機会を提供しています。 また学校でも、外国語指導助手や、外国人市民の児童 生徒による自国文化紹介などにより理解を促進してい ます。今後も国際理解を促進する機会の提供や連携に よる交流の広がりにつとめてまいります。	2	①
78	日本で流れる日本の番組に英語の字 幕があると、日本人外国人両方に良 い。	本大綱では、「外国人市民が安全・安心に暮らせるま ちづくり」を掲げています。日本語をあまり理解でき ない外国人市民に防災情報等生活に必要な情報や知識 を正しく伝えるためには、やさしい日本語や多言語に よる情報提供が必要です。市政に関するメディア情報 発信につきましては、本市の関係部署をはじめ関係機 関と連携しながら、やさしい日本語や多言語を含めた わかりやすい情報の発信につとめてまいります。	2	③